

後期スタート

先週末で前期が終わり、昨日は全校朝礼を体育館で行い、後期をスタートしました。

季節はこれから秋本番となります。「実りの秋」という言葉の「秋」は、穀物や果物などの収穫の季節であり、「実り」は「努力してよい結果を得ること」の意味があります。これまで努力してきた人は、その成果が出るのがこの秋かもしれません。もし、まだ成果が出ていない人は、さらに努力を継続してください。

「努力は報われる」という言葉があります。努力は、継続する強い心や頑張る意欲、優しい心を育てます。たとえ成果が出なくても、確実に人として成長することになります。だから、努力することはとても大切です。

一人一人が後期の目標を作り、その目標を達成する行動を起こし、その行動を継続してください。それとともに、本校の合言葉である、「時を守り、場を清め、礼を正す」「凡事徹底」をあらためて意識した学校生活を送ってほしいと思います。



○ 校長講話

メジャーリーグのロサンゼルス・エンジェルスで、今年大活躍した大谷翔平選手のことを野球ファンでなくても知っていると思います。バッターとしてホームランを46本打っただけでなく、ピッチャーとしても9勝をあげるなど、すばらしい選手です。

大谷選手は、恵まれた体格や運動能力の高さなど、天性のすばらしい才能があったと思いますが、その才能を生かすことができたのは、高校1年生の時に「夢マップ」を作成し、努力を継続したことにあると思います。「夢マップ」とは、自分の夢を真ん中に書いて、その夢を実現するために何をしなくてはならないか、必要なことを周りに書いていく、「目標達成シート」です。

高校生の大谷選手は、真ん中に「ドラ1、8球団」と書きました。プロ野球の入団選手を決めるドラフト会議で、8球団から1位指名をもらえる選手になりたいという夢です。そして、その周りに「体づくり」「コントロール」「キレ(回転数が多く、伸びのある球)」「スピード160km/h」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」の8つの目標を書きました。そして、この8つの目標をその外側のマスの真ん中にさらに書き、それを達成するための具体的な行動をまた8つ書きました。

「スピード160km/h」では、「下半身の強化」「体重を増やす」「肩周りの強化」などといったものです。8つの目標の中に「人間性」をあげているのは、大切なことだと思い



体づくり	RSQ 130kg	リリース ポイントの 安定	コントロール	不安を なくす	力まない	キレ
可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の 強化	↑ 体を 開かない	メンタル コントロール をする	ボールを 前で リリース	回転数 アップ
一喜一憂 しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化
メンタル	雰囲気に 流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	↑ 体幹強化	スピード 160km/h
勝利への 執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール
愛される 人間	↑ 計画性	あいさつ	↓ ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク 完成
人間性	感謝	道具を 大切に使う	運	審判さん への態度	遅く落差 のある カーブ	変化球

ますが、「運」が入っているのが意外でした。「運」の周りには、「挨拶」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「審判さんへの態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書いてあります。ユニフォーム姿の大谷選手が、グラウンドやベンチ付近でさりげなくゴミを拾っている姿が動画サイトで流れ、話題になっていました。大谷選手は「運」を味方にするために、ゴミ拾いを日頃から心がけていたようです。大谷選手が多くの人から応援され、愛されるようになったのは、このような姿があったからだと思います。

私たちは、誰もが大谷選手のようになれませんが、その考え方や夢に近づくための方法は誰でも取り入れることは可能です。自分の遠い将来、近い将来のどちらの夢でも構いません、夢を叶えるための目標と具体的な行動を考えてみましょう。

さて、大谷選手に関わる話をもう一つします。

2024年から1万円札に描かれる人が福沢諭吉から渋沢栄一に変わります。渋沢栄一は、現在NHKの大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公として登場しています。

渋沢栄一は、徳川幕府最後の将軍慶喜に仕え、慶喜の弟昭武が1867年のパリ万博に派遣される時に、付き添い、世話をする人に加わりました。帰国後、明治政府で大蔵省などで仕事をしますが、辞職して第一国立銀行（現みずほ銀行）の頭取に就き、その後は、東京ガス、王子製紙、帝国ホテルなど、生涯500以上の会社を作り、「日本資本主義の父」と呼ばれています。会社だけでなく、教育や福祉事業にも取り組み、大学の設立や慈善事業にも関わりました。

このような渋沢栄一が、講演会で話した内容を渋沢を慕う人たちが、後にまとめたものが、「論語と算盤」という本です。大谷選手がメジャーリーグに行く前に在籍した日本ハムファイターズの栗山監督は、この「論語と算盤」を大谷選手を含め、球団の選手に手渡していたそうです。「論語と算盤」には、「自分を知る」「どんなことも誠実さを基準にする」「思いやりを大切にする」「公のために尽くす」など、現代を生き抜く考え方が書かれています。

大谷選手は入団当時からバッターとピッチャーの両方での活躍を目指し、練習に取り組んできました。大谷選手は、激動の幕末、明治の予測困難な時代でも前向きな努力を続けた、渋沢栄一の生き方に影響を受け、前例にとられない、新しい時代を切り拓いていくための努力を続けています。これからも大谷選手の活躍に注目していきたいと思います。



毎月第3日曜日は、津島市家庭防災の日

17日(日)は、「家庭防災の日」です。津島市では、「災害に備えて日頃から家族で話し合しましょう」と呼びかけています。10月のテーマは、「身近な地域の防災訓練に参加して、地域住民と共助について話し合しましょう」です。今月のテーマに合う「津島市地区総合防災訓練」が、17日(日)に神島田小学校で予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染症対策のため、延期となりました。

ところで、10月7日(木)の夜、埼玉県と東京都で最大震度5強を観測する地震がありました。気象庁によると、東京23区で震度5強以上を観測するのは、平成23年3月11日の東日本大震災以来ということです。この地域でも南海トラフ地震の発生が心配されています。前回から70年以上が経過し、次の地震の発生が近づいていると思います。防災訓練に積極的に参加するなど、準備が必要だと思います。

